

株主通信

平成27年12月期(第75期)
上半期ご報告

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

日機装株式会社 証券コード: 6376



トピックス

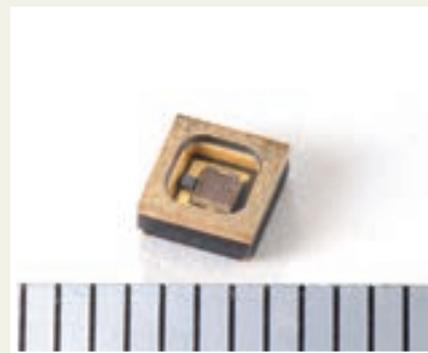
01

世界最高出力の深紫外線LEDの量産化開発に成功

本年10月、世界最高出力となる光出力50mWの深紫外線LEDの量産化開発に成功しました。新製品は、当社従来品の約1.7倍の光出力を有し、量産化技術が確立されたものとしては世界最高性能となります。(中心波長285nm,350mA駆動)来年1月からサンプル品の出荷を開始できる予定です。

紫外線LEDは、殺菌・樹脂硬化・分析など、さまざまな分野において潜在的需要が大きいといわれています。当社は、紫外線LEDのさらなる性能向上に努め、市場開拓を進めることで紫外線LED事業の拡大に取り組んでまいります。

→中表紙「緑の下の日機装」もご参照ください。



新規開発の深紫外線LED外観写真
(SMDパッケージ)

トピックス

02

航空機エンジン用部品の量産開始 ～当社初のエンジン本体部品の長期供給～

当社は、エアバスA320neo用のエンジン部品であるファンケースライナーの長期供給で合意に達し、量産を開始することとなりました。当社は、これまでカスケード、ブロッキングア等の逆噴射装置関連部品や主翼部品などを中心にCFRP製の航空機部品を供給してきました。そのなかで今後は、ファンケースライナーの長期供給合意により、初めてエンジン本体の部品を供給することになります。

ファンケースライナーは、部材調達、供給先などのサプライチェーン最適化の観点から日本での製造を求められており、再編を進める東村山製作所において量産します。

航空宇宙事業では、国内拠点およびベトナム工場を最大限活用し、事業規模拡大に努めていきます。



エアバスA320neo ©AIRBUS S.A.S. 2014



早期の収益改善を実現し、 さらなる成長を めざしてまいります。

代表取締役社長

甲斐敏彦

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに日機装グループの平成27年12月期(第75期)上半期の事業概況をご報告いたします。

■ 当上半期の業績について

当上半期の業績は、受注高684億円、売上高600億円、営業利益8億円、経常利益8億円、親会社株主に帰属する四半期純利益0.5億円となりました。

受注高および売上高は前年同期とほぼ同水準ながら、利益面では大幅な減益となりました。メディカル事業において主力の透析装置の国内販売の不振が続いたことに加えて、インダストリアル事業において、ポンプ大口案件の製品出荷が下期にずれ込んだことやハノイの航空機部品工場での新規製品生産立ち上げに伴うトラブル対処費用発生などの要因が重なったことによるものです。

■ 通期の業績見通し

当期は、決算期変更に伴い本年12月までの9か月決算となりますが(→裏表紙「決算期変更のお知らせ」ご参照)、LEWA社、Geveke社等の海外子会社の業績は従来どおり12か月分が決算に反映されることなどにより、当上半期における遅れを一定程度取戻し、受注高1,150億円、売上高1,200億円、営業利益44億円、経常利益44億円、親会社株主に帰属する当期純利益24億円を見込んでおります。

決算のポイント

- ✓ 受注高、売上高は前年同期とほぼ同じ水準を維持
- ✓ 透析装置の国内販売不振が続いたことに加え、ポンプ大口案件の出荷時期のずれ込みが重なり、利益は前年同期比大幅に減少
- ✓ ポンプ大口案件の着実な遂行や、透析医療ニーズに対応した新製品の開発や体制の構築を急ぎ、国内透析装置販売の着実な回復に努める

インダストリアル事業においては、LNG用ポンプ生産の確実な遂行に留意が必要なものの、通期では前述の大口案件の期ずれを取戻し、全体的には期初計画通りに進むものと見込んでおります。

航空宇宙事業においては、ハノイ工場で、急速な増産体制確立に伴う一時的な工場経費の増加が見込まれるものの、受注、売上は引続き好調に推移するものと見ています。

メディカル事業では、厳しい事業環境が継続しており、主力の国内透析装置の販売が低調です。

以上の状況をふまえ、それぞれの課題への対応を進め、収益の回復に努めてまいります。

■ さらなる成長に向けて

当社グループは、持続的な成長の実現に向け、インダストリアル、航空宇宙、メディカルの各事業を強化していくとともに、グループとしての強みを発揮しながら、中期経営計画「日機装ビジョン2018」に基づき、強固な利益体質の企業をめざして各施策を実行してきています。

これまで、規模の拡大は順調に進んできたものの、収益面では、事業環境の変化への対応も含め、中長期的な視点から解決すべき課題がいくつかあると認識しています。

インダストリアル事業では、原油価格が下落するなかで上流のオイル&ガス業界向け製品から下流の石油化学向け製品への移行、それに伴う利益率低下への対応、国内事業における再編の加速(→本ページ下部ご参照)、グローバルベースでのアフターセールス体制の確立などを進めていきます。

航空宇宙事業では、新規製品の引合い、受注が活発になるなか、さらなる成長に向けてハノイ第二工場建設を視野に入れながら、人材の強化を含めて生産体制・品質管理体制の見直しを進めております。

メディカル事業では、国内は厳しい事業環境が続くと予想しており、効率化、省力化を求める医療業界のニーズに的確に対応できる製品の開発や体制を構築していきます。また、中国における販売体制のさらなる強化、欧州での新型透析装置の拡販を進めてまいります。

新規事業である紫外線LED事業においては、LED性能の向上にともない市場の急速な拡大を予想しており、LEDの性能向上、マーケティング強化とともに、需要の増加に対応できる供給体制の確立に努めてまいります。

これらの施策を通じて、早期の収益改善を実現し、当社グループのさらなる成長をめざしてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

インダストリアル事業の生産体制再構築

インダストリアル事業では、事業の中期戦略として、LEWA社との一体化を進めつつグローバルベースでの最適な生産体制の再構築を進めています。

その一環として、日機装ブランドのポンプ・システム製品の生産体制の見直しを進めています。従来、日機装製品は、一部製品の中国向けを除き、東村山製作所で生産、出荷してきましたが、これを国内向けに限定し、海外向けについては当社グループの海外拠点のうち最終仕向地に近い場所で生産するものとし、グローバルベースでの生産の最適化を図っていきます。

また、今回の東村山製作所の生産体制見直しで発生が見込まれる余剰スペースについては、航空宇宙事業で量産を準備している国内向け航空機部品の製造工場として活用し、当社グループ全体での資産の活用も同時に進めています。



東村山製作所

日機装の事業の概況



インダストリアル事業

ポンプ・システム製品、精密機器製品の製造・販売・メンテナンスを行なっています。

当中間期のポイント

- LEWA社やLNGポンプの大口案件での下期へのずれ込みが発生
- LNG用ポンプの生産遂行に遅れ。期中の出荷量回復をめざす
- 粉体計測機器や電子部品製造装置は堅調



航空宇宙事業

航空機の逆噴射装置用関連部品を中心に炭素繊維強化複合材製品の製造・販売を行なっています。

当中間期のポイント

- 旺盛な航空機需要に支えられ、受注・売上は好調に推移
- ハノイ工場では急速な増産体制確立のための工場経費が増加。経費抑制に努める



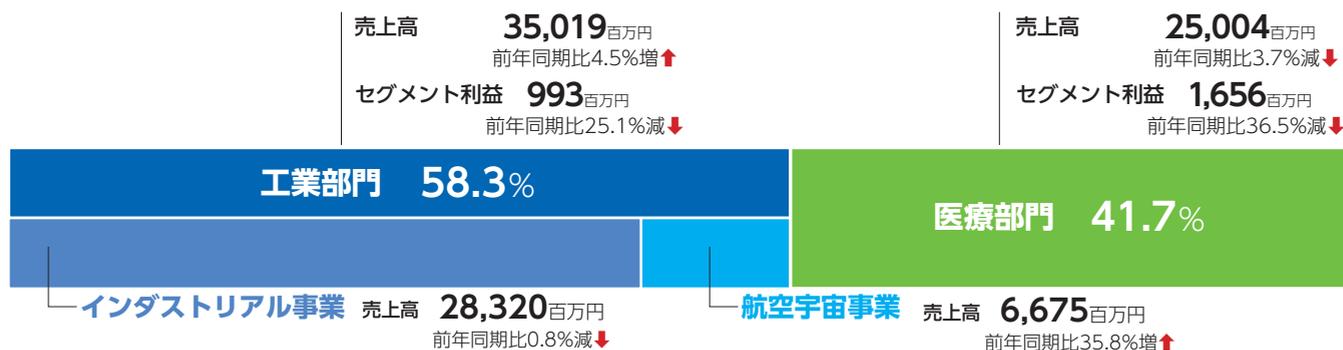
メディカル事業

血液透析や腹膜透析に関連した製品や医薬品、人工臓器装置などの医療機器の製造・販売・メンテナンスを行なっています。

当中間期のポイント

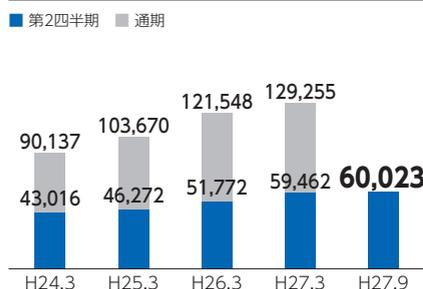
- 国内は、主力の透析装置の販売が低調に推移。海外は、欧州での販売が軟調
- CRRT事業は、運営体制整備の結果、中国やアジアでの販売が伸長

事業別売上高構成比

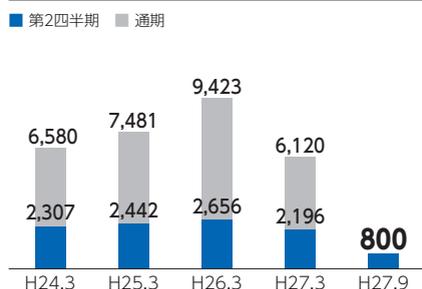


連結決算情報

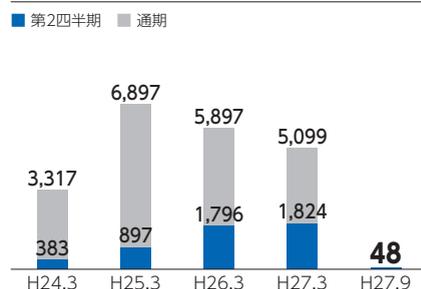
売上高 (百万円)



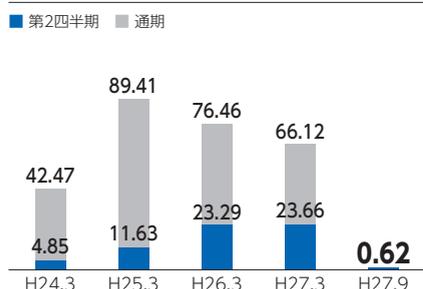
営業利益 (百万円)



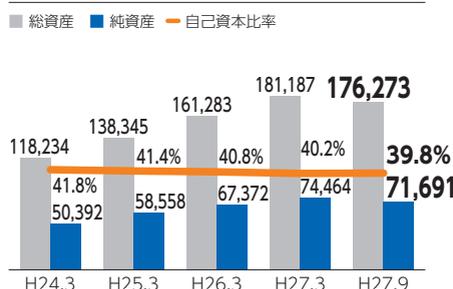
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)



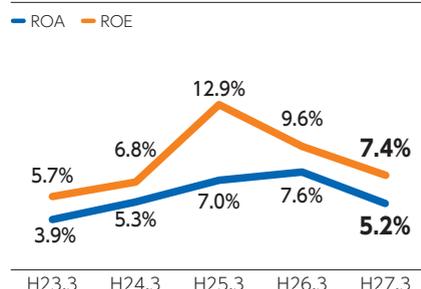
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



総資産/純資産/自己資本比率 (百万円)



ROA/ROE



深紫外線LEDによる 新たな応用の創出へ



深紫外線LEDとは？

深紫外線LEDは、紫外線のなかでも波長が短い深紫外線を発するLEDです。従来の紫外線ランプでは実現できなかった「水銀不使用」「小型化」「長寿命化」「任意の単一波長選択」などの特長をもち、殺菌・樹脂硬化・分析など、さまざまな分野での活用がはじまっています。

当社は、平成18年から、赤崎教授・天野教授のご指導のもと、深紫外線LEDの実用化に向けた研究開発を進め、その性能において世界最先端を走り続けてきました。

また、量産体制の構築にもいち早く着手し、石川県白山市に深紫外線LEDの量産工場を建設、昨年10月から同工場にて生産を開始しています。



白山工場

用途拡大に向けたモジュールの提供

当社は、用途拡大を加速すべく深紫外線LEDを組み込んだモジュールの開発にも取り組んでいます。

本年10月には、深紫外線LEDの特長を活かした、小型で高性能かつ環境性に優れた水殺菌モジュールを開発し、来春から本格的な量産を開始する予定です。このモジュールは、毎分2～10リットルの水に含まれる大腸菌等をワンパスで99.9%殺菌する処理能力を有しており、水殺菌分野での普及が期待されています。



水殺菌モジュール



世界最高性能を有する紫外線LEDのさらなる性能向上はもちろん、これまで当社グループが培ってきた流体技術や医療機器に関する知見を活用することで、付加価値を提供し、紫外線LEDによる新たな応用を創出していきます。

さらに、量産体制の確立を通じて市場に見合った価格で紫外線LEDを供給していくことで、市場を幅広く早期に創出し、この新規事業をいち早く軌道に乗せていきます。

日機装技研株式会社
UV-LED事業部長 石黒 永孝

会社概要

| | |
|------|------------------------------------|
| 創業日 | 昭和28年12月26日 (登記上の設立日は昭和25年3月7日) |
| 資本金 | 6,544,339,191円 |
| 従業員数 | 連結6,571名 当社単独 1,577名 |

役員・執行役員

| | |
|------------|--------|
| 代表取締役社長 | 甲斐 敏彦 |
| 取締役 常務執行役員 | 西脇 章 |
| 取締役 常務執行役員 | 本間 久 |
| 取締役 常務執行役員 | 吹田 恒久 |
| 取締役 執行役員 | 藤井 章太郎 |
| 社外取締役 | 中根 堅次郎 |
| 社外取締役 | 菊地 裕太郎 |
| 常勤監査役 | 中村 洋 |
| 常勤監査役 | 伴 信彦 |
| 社外監査役 | 長友 英資 |
| 社外監査役 | 中久保 満昭 |
| 執行役員 | 鹿野 直太 |
| 執行役員 | 長門 祥一 |
| 執行役員 | 小糸 晋 |
| 執行役員 | 馬場 博 |
| 執行役員 | 中東 久和 |
| 執行役員 | 小関 高志 |

株式の状況

| | |
|----------|-----------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 249,500,000株 |
| 発行済株式の総数 | 80,286,464株 (うち自己株式3,153,781株) |
| 株主数 | 12,518名 |

株主メモ

| | |
|---------------------------|---|
| 事業年度 | 毎年1月1日から12月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年3月 |
| 基準日 | 定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日 |
| 株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) ☎ 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行なっております。 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 公告の方法 | 電子公告の方法により行ないます。 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.nikkiso.co.jp |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所(証券コード6376) |

■ 決算期変更のお知らせ

当社グループは、平成 27年12月期をもって、決算期を3月31日から12月31日に変更いたします。
決算期をグローバルベースで統一することで、財務開示や業績管理など経営および事業運営の効率化を図るとともに、将来適用を検討している国際財務報告基準(IFRS)に規定されている連結会社の決算期統一の必要性に対応することが目的です。
決算期変更の経過期間となる第75期は、当社および国内連結子会社が平成 27年4月1日から平成 27年12月31日までの9か月決算となります。平成 28年からは、当社およびすべての連結子会社について、1月1日から 12月31日までの12か月決算となります。

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増等の取り扱い先について

住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求につきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で取り扱います。お取引をされている証券会社等にお問い合わせください。
なお、特別口座にて管理されている株式については、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社での取り扱いとなります。お問い合わせ先は上記のとおりです。



当社ホームページのご案内

最新の IR 情報を掲載しております。

<http://www.nikkiso.co.jp>

トップページ



日機装株式会社

〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
恵比寿ガーデンプレイスタワー22階
電話 03-3443-3711 (代表)

